

# 令和4年度 内部質保証による 自己点検・評価報告書



# 令和4年度 内部質保証による自己点検・評価の実施概要

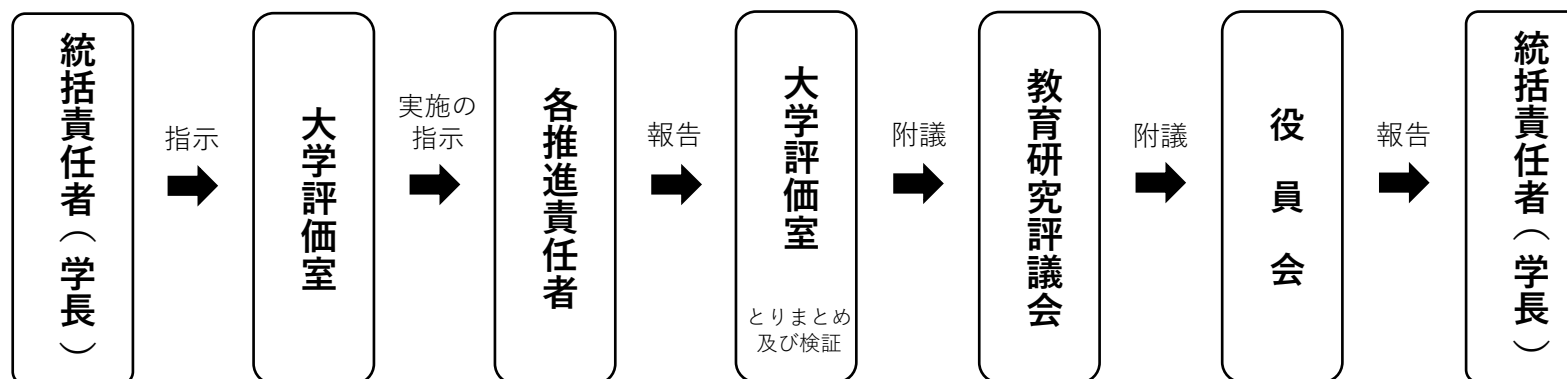
## 自己点検・評価の目的

本学が自律的な組織として、本学の理念や目的を実現するために、自らが行う教育及び研究並びにそれらを行うための組織、運営、施設及び設備の状況について継続的に点検・評価し、絶えず改善・向上に取り組むことを目的とする。

## 自己点検・評価の実施方法・対象

「群馬大学における内部質保証に関する方針」、「群馬大学における教育の内部質保証に関する方針」、及び各推進責任者等が定める自己点検・評価及び改善実施要項に基づき、責任主体組織及び推進責任者が定める組織において、恒常的かつ継続的に自己点検・評価を実施する。

## 自己点検・評価の実施体制



## 令和4年度 自己点検・評価の実施状況

各組織にて推進責任者等が定めた実施要項に基づき、点検・評価が実施されていること、また、自己点検・評価の結果、優れた点及び改善すべき点を確認した。

# 令和4年度 内部質保証による自己点検・評価の結果

## 教育課程

### ● 実施対象

各教育課程

### ● 点検・評価事項

・各教育課程における教育内容、方法等

### ● 自己点検・評価の結果（総括）

・自己点検・評価の結果、適切に実施していることを確認した。

### ● 優れた点

- ・令和3年度から全学的に群馬大学LMS（Moodleを利用した学習管理システム（Learning Management System））の運用を開始した。授業科目ごとのコースが設定され、教材の公開、テスト・アンケートの実施、課題の確認などで利用されており、教員、学生ともに、いつでもどこからでもアクセスができ、学生の自発的な学習や、教員と学生とのコミュニケーションを促すための多様な機能により、対面授業を補完するツールとして役立てられている。
- ・共同教育学部において、教職への意欲の喚起、教員としての基礎的力量の形成とそれを通じた教員採用試験の合格率向上のための取組を強化した。
  - ① 3年次後期、教育実習のフォローアップ科目として「教職実践基礎演習」を新設した。
  - ② 教育学部同窓会と連携し、4年生の面接指導を強化するとともに、1年生向けに、教職の魅力を示す講演を収録動画配信で実施した。
- ・理工学部において、令和3年度入学生より、1年次からメンター教員（相談・世話役）がマンツーマンで指導する体制を整えている。学生一人ひとりにメンター教員が付き、プログラム選択や履修、進路に関する様々な相談を行っている。



（上図）群馬大学LMS



（上図）理工学部3つの特徴

# 令和4年度 内部質保証による自己点検・評価の結果

## 学生支援

### ● 実施対象

学生支援全般

### ● 点検・評価事項

- ・ 学生生活に関する支援の状況
- ・ 学生の健康に関する支援の状況
- ・ 就職等進路に関する支援の状況
- ・ 学生の課外活動に関する支援の状況
- ・ 学生の経済面に関する支援の状況
- ・ 各種ハラスメント防止に関する措置の状況
- ・ 障害のある学生に関する支援の状況

### ● 自己点検・評価の結果（総括）

- ・ 自己点検・評価の結果、適切に実施していることを確認した。

### ● 優れた点

- ・ 新型コロナウイルス感染症等への対応として、次の支援を実施した。

#### 【奨学金給付等】

- ・ 群馬大学緊急学生支援奨学金給付（大学独自）：5万円を115名に給付
- ・ 経済的困窮学生に対する修学支援金給付（大学院生対象、大学独自）：20万円を12名に給付
- ・ 学生の学びを継続するための緊急給付金（文部科学省支援）：10万円を873名に給付
- ・ 学生の食に対する支援（大学独自、日本学生支援機構助成金）：学生食堂専用マネー5千円を464名に給付
- ・ 入学料免除及び授業料免除等（大学独自、文部科学省支援）

#### 【その他の支援】

- ・ 学生対象のセルフケアセミナー（全5回）の実施
- ・ オンライン又は対面によるカウンセリングの実施
- ・ ライブ配信や収録動画配信による就職ガイダンスの実施
- ・ 課外活動、学生寮における感染防止対策の実践状況の検証
- ・ 運動不足解消エクササイズ紹介（YouTube）
- ・ 新型コロナウイルスワクチン職域接種の実施
- ・ オンラインによる就職相談の実施
- ・ 障害学生に対する情報保障サポート



(上図) セルフケアセミナー

## 留学生支援

### ● 実施対象

留学生支援全般

### ● 点検・評価事項

・留学生の生活に関する支援の状況

### ● 自己点検・評価の結果（総括）

・自己点検・評価の結果、適切に実施していることを確認した。

### ● 優れた点

- ・外国人留学生を対象に国際センターが開設する日本語補習クラスについて、従来、昭和・桐生キャンパスと地区毎に実施していたが、令和4年度前期からはオンライン化するとともに統合した。これにより、桐生地区の初級レベルを細分化するとともに、昭和地区学生の中級・上級レベルの受講を可能とし、留学生の選択肢を広げ、よりニーズにあった日本語学習機会を提供することが可能となった。
- ・ロシアによるウクライナへの武力侵攻により教育や研究の継続が難しくなったウクライナの学生や研究者を一時的に受け入れ、支援している。



(上図) 国際センター



(上図) ウクライナ学生・研究者と本学GFL生との交流会

## 学生受入

### ● 実施対象

学生受入全般

### ● 点検・評価事項

- ・ 学生受入方針が明確に定められていること
- ・ 学生受入方針に沿った学生受入の実施状況
- ・ 実入学者数の状況

### ● 自己点検・評価の結果（総括）

- ・ 自己点検・評価の結果、概ね適切に実施していることを確認した。

### ● 改善すべき点

- ・ 一部の研究科において入学定員を下回っており、入学定員充足率の状況を継続的に把握し、改善方策に基づき、改善のための取組を進めていく必要がある。

## 研究活動

### ● 実施対象

研究活動全般

### ● 点検・評価事項

- ・ 研究活動の支援体制の整備の状況
- ・ 研究倫理教育の実施状況

### ● 自己点検・評価の結果（総括）

- ・ 自己点検・評価の結果、適切に実施していることを確認した。

## 施設、情報設備・図書館

### ● 実施対象

- ・ 教育研究、自主的学習や課外活動等のための施設
- ・ 情報設備、図書館運営全般

### ● 点検・評価事項

- ・ 施設の整備状況
- ・ 施設の安全性の状況
- ・ 自主的学習環境整備の状況
- ・ 情報設備に関する項目
- ・ 図書館運営に関する項目

### ● 自己点検・評価の結果（総括）

- ・ 自己点検・評価の結果、適切に実施していることを確認した。

### ● 優れた点

- ・ 新学術情報ネットワーク「GUNet2022」について、契約内容の工夫により、各地区とデータセンター間の回線を2重化した。新型コロナウイルス感染拡大によりネットワークへの依存度が増加しているが、回線断による業務中断の可能性を少なくすることができた。
- ・ PC必携化に対応するため、桐生・太田地区の無線LANアクセスポイントを増強し、学習環境を整備した。
- ・ 中央図書館所蔵の郷土かるたコレクションのデジタルアーカイブ化を実施し、令和3年3月に本学ウェブサイトにて、群馬県内の郷土かるた60点を公開した。令和4年1月には、群馬県以外の郷土かるたを含む93点を追加公開し、現在公開している郷土かるたは計153点（27都道府県）となった。
- ・ オープンサイエンスの推進のため、研究データの管理・利活用に係るデータポリシー及び論文へのオープンアクセスポリシーの策定に向けて、オープンサイエンス検討WGを設置し、検討を開始した。



(上図) 「郷土かるたコレクション」デジタルアーカイブ